

横須賀市告示第66号

地方自治法第243条の3第1項及び横須賀市財政事情の公表に関する条例並びに地方公営企業法第40条の2第1項の規定に基づき、本市の財政状況を次のとおり公表します。

平成23年6月1日

横須賀市長 吉田雄人

横 須 賀 市 の 財 政 状 況

1.平成 22 年度予算執行の状況（平成 23 年 3 月 31 日現在）

一般会計

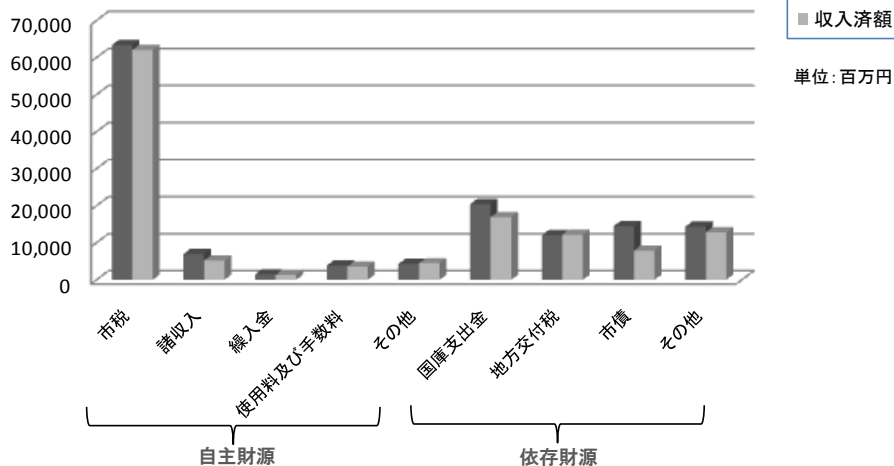
歳入

〔収入の状況〕

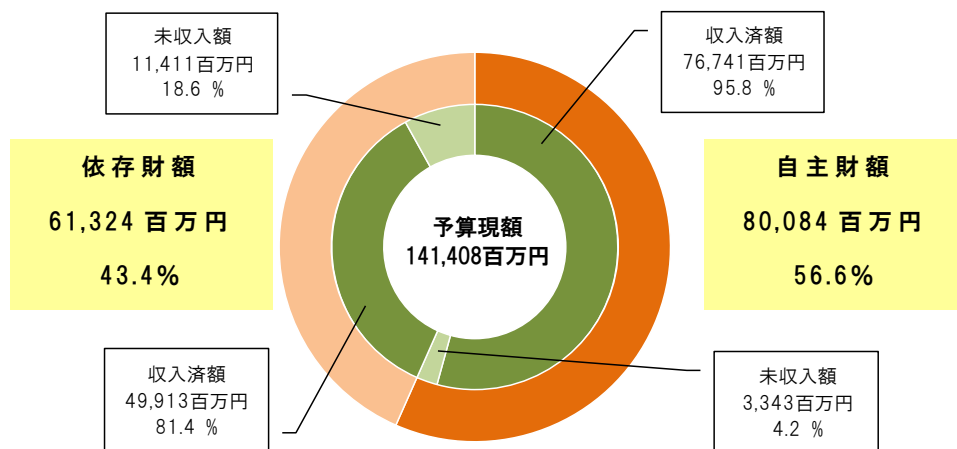
（単位：百万円）

区 分	予算現額	収入済額	執行率 (%)
自主財源	80,084	76,741	95.8
市税	63,372	62,053	97.9
諸収入	6,968	5,178	74.3
繰入金	1,530	1,382	90.3
使用料及び手数料	3,891	3,619	93.0
その他	4,323	4,509	104.3
依存財源	61,324	49,913	81.4
国庫支出金	20,465	16,936	82.8
地方交付税	12,021	12,210	101.6
市債	14,475	7,917	54.7
その他	14,363	12,850	89.5
合 計	141,408	126,654	89.6

〔項目別 収入の状況〕



〔自主財源・依存財源別の収入の状況〕



自主財源と依存財源

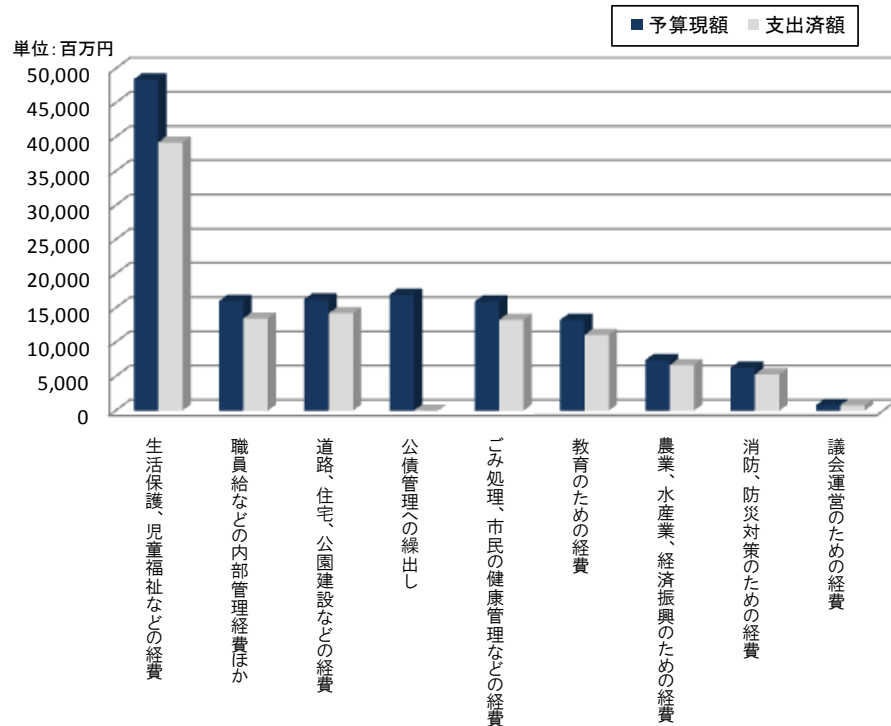
自主財源は、市税のように市が自主的に収入できるものです。これに対し、依存財源は、ある条件を満たした場合に国や県から交付を受けるものです。安定した行政運営のためには全体に占める自主財源の割合が高いことが望まれます。

〔支出の状況〕

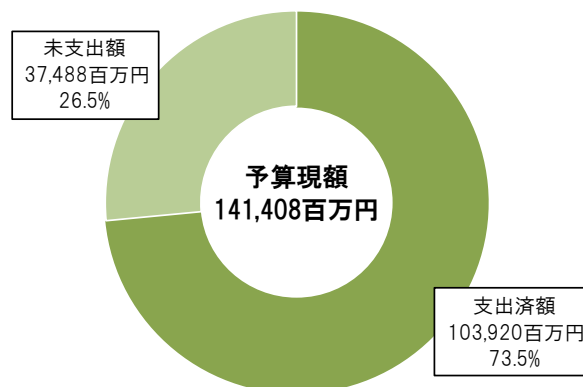
(単位：百万円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率 (%)
生活保護、児童福祉などの経費	48,433	39,201	80.9
職員給などの内部管理経費ほか	16,016	13,478	84.2
道路、住宅、公園建設などの経費	16,281	14,219	87.3
公債管理への繰出し	16,964	3	0.0
ごみ処理、市民の健康管理などの経費	15,965	13,270	83.1
教育のための経費	13,262	11,040	83.2
農業、水産業、経済振興のための経費	7,398	6,642	89.8
消防、防災対策のための経費	6,291	5,285	84.0
議会運営のための経費	798	782	98.0
合 計	141,408	103,920	73.5

〔項目別 支出の状況〕



〔全体の支出の状況〕



予算現額とは

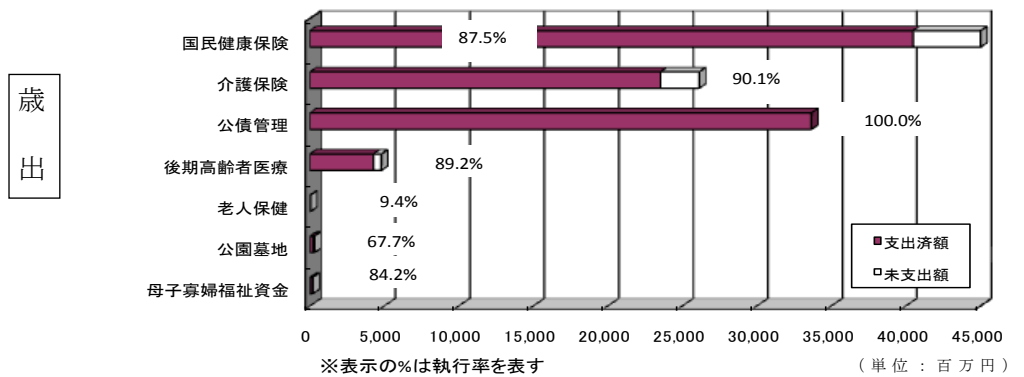
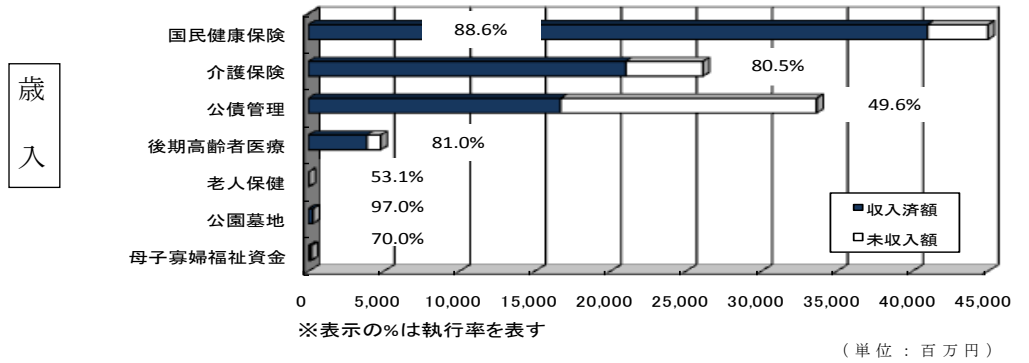
市は毎年度予算を編成したあとで、当初の予算を変更することがありますが、これを予算の補正といいます。補正を行ったあとの予算の額を「予算現額」と呼び、現在の予算額を表しています。

特別会計

〔歳入歳出の状況〕

(単位：百万円)

区 分	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	46,267	40,995	40,479
介護保険	26,122	21,023	23,532
公債管理	33,653	16,701	33,653
後期高齢者医療	4,786	3,875	4,267
老人保健	32	17	3
公園墓地	303	294	205
母子寡婦福祉資金	190	133	160
合 計	111,353	83,038	102,299



企業会計

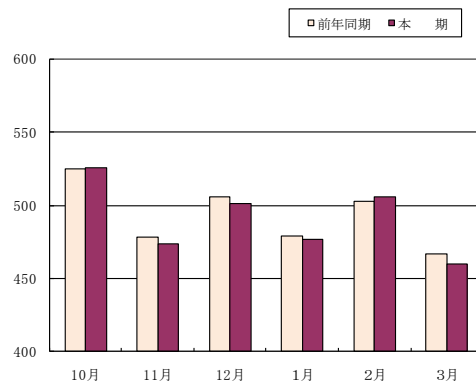
〔経理状況〕

(単位：百万円)

区 分	予算現額	収入・支出済額	執行率 (%)	
収益的	収入	11,358	11,546	101.7
	支出	11,192	10,886	97.3
資本的	収入	1,666	1,081	64.9
	支出	5,898	4,590	77.8

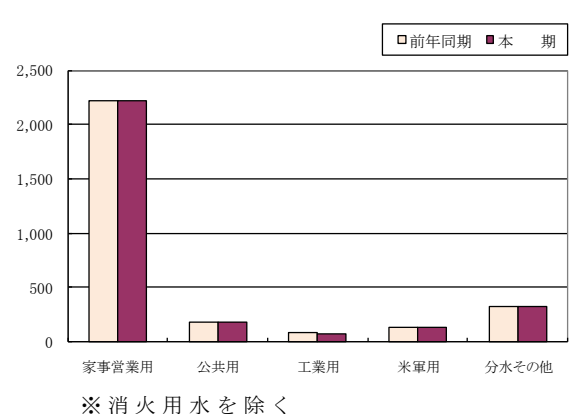
平成22年度下半期月別有収水量

(単位：万m³)



平成22年度下半期用途別有収水量

(単位：万m³)



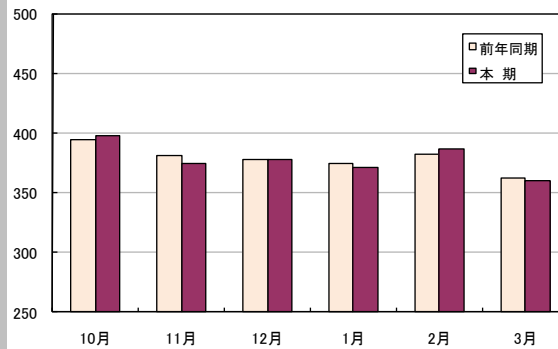
〔経理状況〕

(単位：百万円)

区分		予算現額	収入・支出済額	執行率(%)
収益的	収入	10,861	10,962	100.9
	支出	10,704	10,408	97.2
資本的	収入	8,797	5,846	66.5
	支出	12,728	9,735	76.5

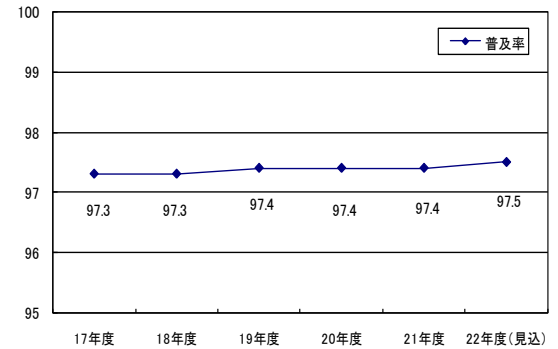
平成 22 年度下半期月別有収水量

(単位：万 m³)



下水道人口普及率の推移

(単位：%)

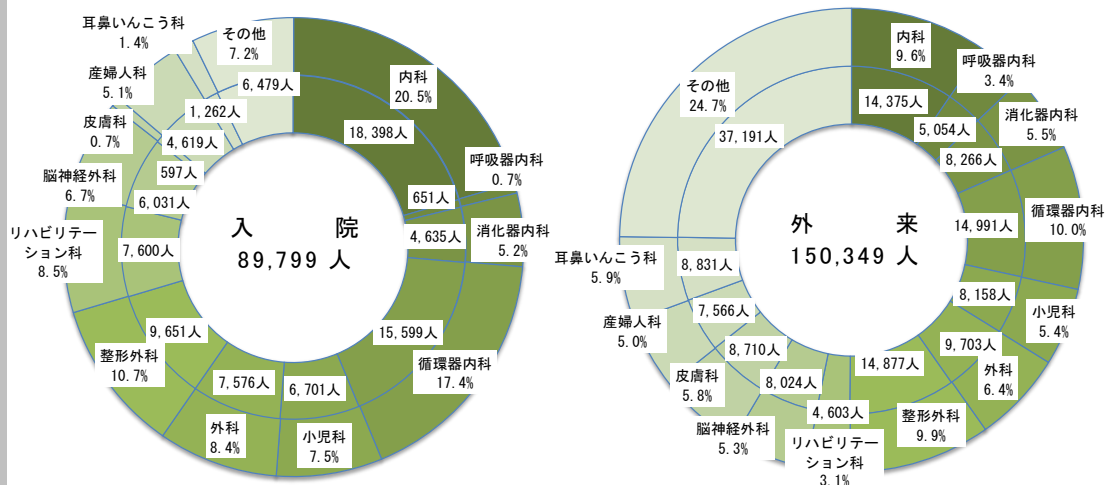


〔経理状況〕

(単位：百万円)

区分		予算現額	収入・支出済額	執行率(%)
収益的	収入	1,997	1,964	98.3
	支出	2,389	1,773	74.2
資本的	収入	855	818	95.7
	支出	1,220	1,177	96.5

〔平成 22 年度下半期の患者診療科別割合〕

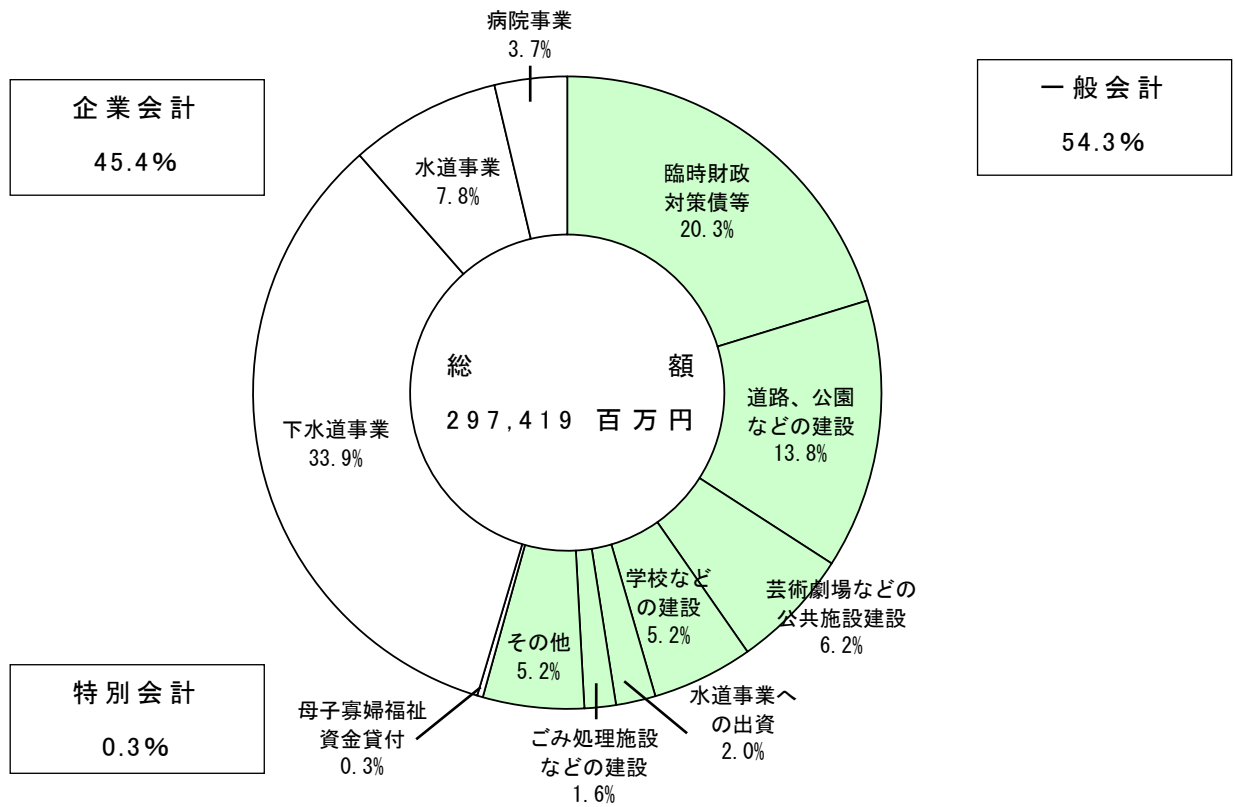


収益的収入・支出及び資本的収入・支出とは

サービス提供にかかる経費とそれに対する料金収入といった、企業の経営活動に伴い生じる経費とそれに対する収益を、収益的収入・支出といいます。

一方、建設整備のための経費やそれにかかる企業債の償還金などの支出と、建設整備の財源となる企業債などの収入を資本的収入・支出といいます。

2. 市債の現債額（平成23年3月31日現在）



(単位：百万円)

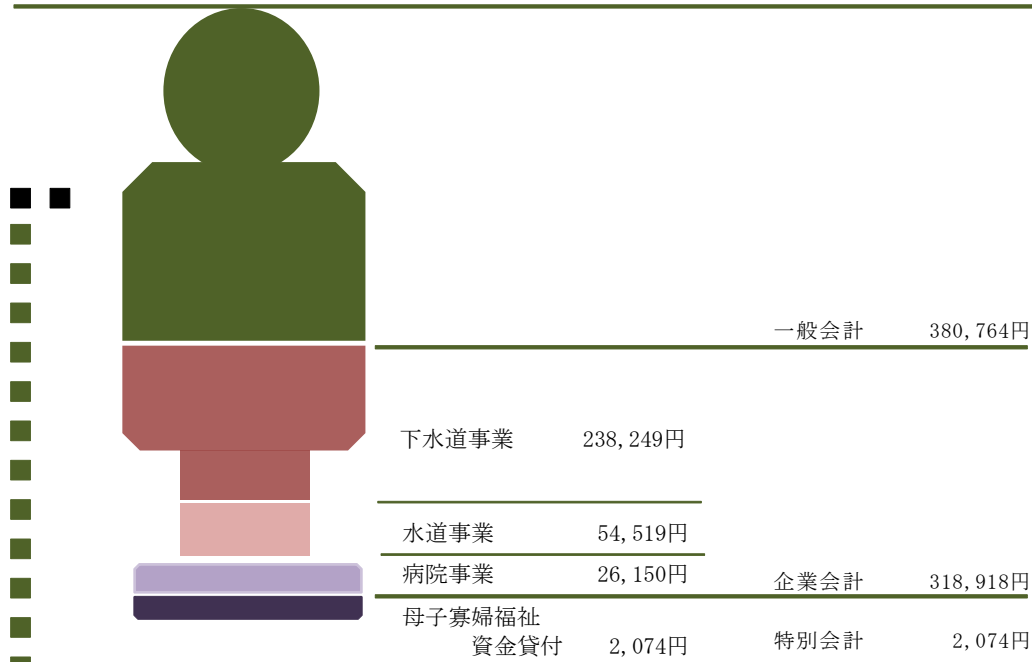
		現 債 額
一 般 会 計		161,376
通 常	債	101,151
	道路、公園などの建設	41,045
	芸術劇場などの公共施設建設	18,283
	学校などの建設	15,457
	水道事業への出資	6,076
	ごみ処理施設などの建設	4,806
	その他	15,484
	臨時財政対策債等	60,225
特 別 会 計		879
	母子寡婦福祉資金貸付	879
企 業 会 計		135,164
	下水道事業	100,975
	水道事業	23,106
	病院事業	11,083
合 計		297,419

一般会計の市債

市債とは市の借金のことをいい、大きく分けて、通常の建設事業等にかかる「通常債」と、本来、国から交付されるべき現金の振替措置として借り入れる「臨時財政対策債等」があります。

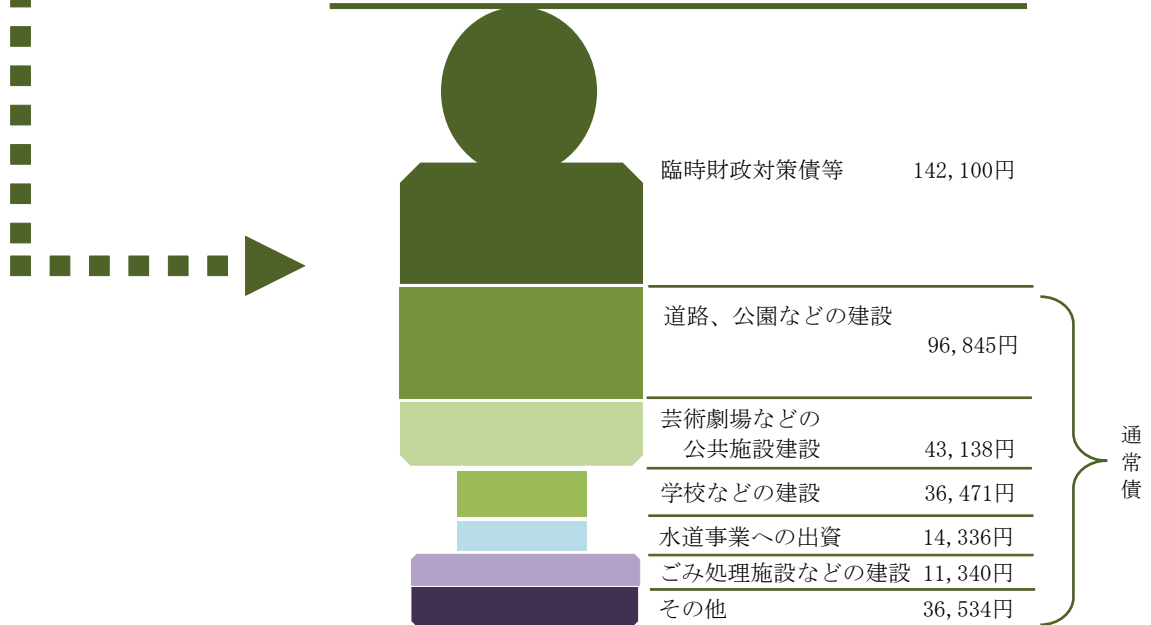
通常債：施設整備を行う場合など、一時的に多額の資金を必要とする場合に借り入れる市債で、翌年度以降、借入対象施設の耐用年数に応じて分割して返済していきます。整備された施設は、将来の市民も利用することから、現在の市民だけでなく将来の市民からも応分に税負担をしてもらい、世代間の負担を公平にするという考え方に基づいています。

臨時財政対策債等：「臨時財政対策債」とは、本来、国から自治体へ地方交付税として再分配されるべき現金が、国の財源不足により全額が地方に配分されず、不足する額を一旦、自治体が借り入れて対応しているもので、返済額は地方交付税で補てんされます。



一般会計の市債現債額の内訳

一般会計債 市民 1 人あたりの現債額 総額 380,764円



※人口は平成23年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口423,821人を使用しています。

特別会計・企業会計の市債

特別会計・企業会計の市債は、特定の事業のための原資や設備投資を行うために発行するものです。これらの返済には、事業から得られる使用料などの収入が充てられます。

3. 市有財産の現在高（平成23年3月31日現在）

（一般会計及び特別会計に属するもの）

種 別		現 在 高
公有財産	土 地	7,103,167㎡
	建 物	1,253,579㎡
	動 産	浮標等 33個
	物 権	地上権 2,270㎡
	無体財産権	商標権 6件
	有価証券	554,391千円
	出資による権利	3,390,517千円
債 権	2,956,436千円	
基 金	25,337,504千円	

無体財産権とは

特許法、著作権法、商標法などに基づき、発明、考案、創作活動などの無形の財産を独占的に利用できる権利のことで、知的財産権ともいいます。

基金とは

特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設けられる資金、財産のことで、家計でいう貯金にあたります。

横須賀市には、財源の不足を生じたときの財源に充てることを目的とした財政調整基金や、緑化を推進し、緑を保全するために必要な費用に充てることを目的とした緑地基金などがあります。

4. 一時借入金 の現在高（平成23年3月31日現在）

0円

一時借入金とは

一時借入金とは、地方公共団体が一般会計年度内において支払現金が不足した場合、その不足を補うために借り入れる資金のことをいいます。

収入と支出を予算で計画していますが、実際にお金が入る時期と経費を支払う時期にはずれが生じるため、支払いが多い時期には一時的に資金が足りなくなることがあります。そのようなときには、予算で定めた額を限度として一時的に金融機関から資金を調達することができます。